

平成 30 年 12 月 21 日
航空局航空機安全課

航空局のパイロットによるMRJの飛行試験を開始します！

三菱航空機が開発を進めているMRJに対し、航空局のパイロットが操縦して行う飛行試験（型式証明飛行試験）を開始するために必要な確認ができたことから、今後準備が整った試験項目から、順次型式証明飛行試験を実施していくことになりました。

まずは、エンジン等の機能の一部を確認するための飛行試験を、2019年1月下旬頃に、米国モーゼスレイクで実施する予定です。

- 国土交通省では、三菱航空機株式会社が開発を進めている約半世紀ぶりの国産旅客機である三菱リージョナルジェット（MRJ）に対し、航空法に基づき、航空機の設計について型式証明^{*}の審査を実施しております。
- 型式証明の審査においては、安全基準・環境基準への適合性を確認するため、書類審査、地上試験等を進めておりますが、今般、一部の試験項目について、航空局のパイロットが操縦して行う飛行試験（型式証明飛行試験）を実施するために必要な確認ができました。
- 同試験項目は、エンジン等の機能の一部（エンジンの空中での再始動、補助動力装置の機能確認等）を確認するために行うものであり、2019年1月下旬頃に、米国モーゼスレイクにおいて実施する予定です。
- その後も、準備が整った試験項目から、所要の確認を同様に行った上で、順次型式証明飛行試験を行っていくこととしています。
- 国土交通省としては、MRJの型式証明に向けて引き続き審査を適切かつ円滑に進めてまいります。



提供：三菱航空機㈱

※ 型式証明とは、航空機の型式の設計が所要の安全基準及び環境基準に適合していることを証明するもの。

<問い合わせ先>

航空局 安全部 航空機安全課 担当 大井、峯村

TEL：03-5253-8111（内線：50202、50204） 03-5253-8735（直通） FAX：03-5253-1661

我が国初となる国産ジェット旅客機の開発に伴い、同機に取り入れられる新技術に対応した安全性審査方式を導入し、適切かつ迅速に審査を実施しており、2020年半ばに予定している実用化につなげていく。

(2015年11月11日初飛行離陸直後の様子)
提供：三菱航空機㈱

▶ 我が国で初めての国産ジェット旅客機(70~90席クラス)
▶ 今後20年、世界で5,000機以上の需要が見込まれる100席以下のクラス(リージョナルジェット機)の市場に投入

主要諸元*

最大離陸重量 : 42,800 kg
 最大運用マッハ数 : マッハ0.78 (約830km/h)
 離陸滑走路長 : 1,740 m
 着陸滑走路長 : 1,480 m
 航続距離 : 3,770 km
 標準座席数 : 88 席

※ 開発中のため変更の可能性がある

MRJ90: 35.8 m / 117 ft 5 in
 MRJ90 / MRJ70: 29.2 m / 95 ft 10 in
 MRJ90 height: 10.4 m / 34 ft 2 in

受注状況 (正式契約) 計387機	全日本空輸(初号機納入先)	25機
	トランス・ステーツ・ホールディングス(米国)	100機
	スカイウェスト(米国)	200機
	エア・マンダレイ(ミャンマー)	10機
	日本航空	32機
	エアロリース(米国)	20機

セールスポイント

高い安全性

低燃費・低騒音

客室の快適性

優れた運航経済性

燃費の優位性

フライト当たり消費燃料
20%削減

低騒音

騒音面積を40%削減

客室の快適性

型式証明の申請から証明・就航までの想定スケジュール

※2017年1月見直し

2007年度	2008~2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
						初飛行					初号機納入
型式証明を国土交通省に申請						就航					
設計・製造						飛行試験等					
設計図面の審査・各種解析書の審査											
装備品試験・地上試験											
飛行試験											
※飛行試験を国内及び米国で実施。											
型式証明飛行試験											
派生型機設計変更不具合対策											

国土交通省の取り組み

- MRJを開発する三菱航空機(株)が所在する名古屋地区に「航空機技術審査センター」を設置し、設計の安全性審査体制を構築・拡充(現行73名体制)
- 安全審査担当の能力向上を図るべく、米国の航空当局とも連携して、専門研修を拡充
- 安全性審査にあたっては、米国・欧州の航空当局の安全性審査担当者と密接な連携を実施

▶ 初飛行: 2015年11月11日
 ▶ 初号機納入: 2020年半ば